

58 初音観音

伝承地：泉町4-30（延命院）

参考書籍：1



（初音観音）

かける時は、櫛を供えて祈ると一層効果があると伝えられている。

宇都宮を代表する名刹、泉町の延命院の地藏堂（市指文化財）の裏に、医者も見放す頭に関する病を治すことだけでなく悪い頭脳も良くすることが出来ると伝えられている「霊験初音の墓」がある。

初音は、実名を大内トメと言い、家族の犠牲となり子供のうちに売られていった。初音と名を変えたトメは一生懸命に働いていたが、疲労が重なってか頭の病気になる、明治15年18歳の若い身で死んでしまった。

初音は、自分のような身の上の人が二度と出ないようにと願いながら息を引きとったと言われ、悲心抜苦を實踐した彼女は観音様の権化であるとされ信仰を集め香煙がたえなかったといわれる。

なお、初音の墓に詣で、願いを



59 樋爪氏の首

伝承地：大通り5丁目3-2

参考書籍：5～8



（樋爪氏の墓）

された。その殺された所を樋爪坂といい、首は上河原に、胴は今泉に葬られたという。また上河原で殺され、首は向う岸の博労町に飛んだともいわれ。そしてその首を祀ったところを首塚稲荷という。また墓の周囲に南天が植えられ南天の葉を取れば盲目となるという。樋爪氏の墓は市の指定文化財である。

源頼朝が奥州藤原氏を追討する際に、宇都宮大明神に戦勝を祈願して、出陣した。そして、無事、平定することができた。

その時、藤原一族の樋爪五郎季衡とその子経衡の親子を捕虜として引き連れ、二荒山神社に祈願成就のお礼に奴隷として引き渡した。

樋爪五郎は、故郷恋しさのあまり逃げ帰ろうとして、上河原まで走ってきたが追手に捕われ殺害さ

